

令和3年度

す す

ほうりゅう

珠洲市立宝立小中学校

義務教育学校 施設一体型，4・3・2制

学 校 要 覧



〒927-1222

石川県珠洲市宝立町鶴飼丑部83番地

TEL 0768 (84) 1119・1106

FAX 0768 (84) 1119・1106

E-mail houryusyou@city.suzu.ishikawa.jp

教育目標及び教育方針，特色ある取組等

1 基本理念 『 習得・活用・探究，信頼・共感・自立 』

2 教育目標 『 ふるさと宝立の自然や人に学び，たくましく生き抜く子の育成 』

3 めざす児童生徒像

○確かな学力を身に付けた子（ 知 ）

- ・ふるさと珠洲科で聴き手を納得させるプレゼンテーション力を身に付けている。
- ・活用・探究するための見方・考え方を身に付けている。
- ・相手の話を共感的に理解し、考え深められる傾聴力・対話力を身に付けている。
- ・教科書や資料を読み、理解できる読解力を身に付けている。
- ・チャイムスタート，聴き方・話し方名人等の学習規律やルールに沿って行動できる。

○思いやりがあり心豊かな子（ 徳 ）

- ・自分から気持ちのよい挨拶をすることができる。
- ・他者を共感的・肯定的に理解し、関わることができる。
- ・授業や行事の中で思いやり・助け合い・絆づくりの心をもって関わるができる。
- ・自問清掃の中で我慢・集中・親切・発見・感謝・正直の心をもって取り組むことができる。

○健康・安全を育み守る子（ 体・食 ）

- ・生活のリズムを守ることができる。
- ・体力づくりに進んで取り組むことができる。



4 児童生徒との約束

あ	挨拶・朝ご飯	い	命・いじめゼロ	ど	努力	る	ルール	（プラス）下足
---	--------	---	---------	---	----	---	-----	---------

5 本年度の指導事項

(1) **学習指導** よく考え，確かな学力を身につけた子の育成

- ①活用・探究するための見方・考え方を働かせる場を授業で設定する。
- ②傾聴や対話・討論により向上的に考えを変容させる授業を実践する。
- ③授業の中で教科書や資料を読み、理解できる読解力の育成を図る。
- ④よりよく学ぶための基礎・基本としての学習規律の定着を図る。
- ⑤自主的、計画的な家庭学習の習慣化を図る。

(2) **生徒指導** 思いやりのある，豊かな心をもった子の育成

- ①自己有用感を育むピアサポートによる集会・行事・体験活動の充実を図る。
- ②振り返りを生かした自問清掃の取組，学びを生かして挑戦する場の充実を図る。
- ③他者を共感的・肯定的に理解し、尊重できる見方・考え方を育む道徳・特別支援教育の充実を図る。

(3) **健康・安全** たくましい体力と気力をもった子の育成

- ①望ましい生活習慣・食習慣の確立を図る。
- ②体育の授業や「体力アップ1校1プラン」の充実に努める。
- ③安全計画の見直しと訓練を含めた安全教育を推進する。

(4) **地域連携** ふるさとを愛する心をもった子の育成

- ①PTAや保育所，他義務教育学校・小学校・中学校・高校との連携を深める。
- ②コミュニティスクールに向けて、地域の関係機関・人々との連携を深める。

(5) **信頼される学校** プロ意識と使命感を持ち、信頼される教師集団

- ①若プロ等、校内研修の充実と個々の指導力の向上をめざす。
- ②学力向上ロードマップとプラン、指導案検討と模擬授業による授業改善と授業力向上を図る。
- ③互いに助け合う共助とベテランと若手が互いに育つ共育を進める。
- ④働き方改革の理念を念頭に置き、業務改善に努める。

6 日課等

- ・勤務時間 8：15～16：45（授業 8：35～15：40）
- ・1単位時間は、前期が45分、後期が50分。チャイムは始業時のみ。
- ・始業前の活動 8：15～8：25（8：30）
- （例）職員朝礼は月曜朝のみ。
- （例）ブロック集会、小中集会及び全校集会を月1回、水曜朝に実施。
- （例）他の曜日に 朝読書、言葉のスケッチ等

7 特色ある取組等 ※児童生徒を「育てるしかけ」&児童生徒が「育つしくみ」

義務教育学校・・・学校教育法改正により義務教育学校に移行。それまでは平成24年度より小中一貫教育（「施設一体型」「校長1人」「4・3・2制」「英語科前倒し」）を実施。

4・3・2制・・・1～4年を前期、5～7年を中期、8・9年を後期ブロックとする4・3・2制を実施。

ブロック集会・・・月に1回、金曜の朝、始業前に実施。児童生徒に企画・運営させることで、仲間意識、リーダー学年のリーダー性を育成する。

小中集会・・・6年生に小学生リーダーとしての意識をもたせるため、ブロック集会とは別に実施。6年生には、司会等の役割を担わせている。

全校集会・・・月1回。内容は、校歌斉唱と校長講話。

小中委員会及び児童生徒総会・・・委員会は月1回、小中合同で行う。年度始め、1年生から9年生まで全員が出席して、総会を行う。

交流スペース・・・児童生徒同士の自然な触れ合いを育むスペースとして設定。

乗り入れ授業・・・後期課程（中）教員が前期課程（小）の授業に出ることで、授業改善や児童生徒理解等を効果的に行うことができる。
（例）2・5・6年体育、4年音楽、2・4～6年図工

ふるさと珠洲科・・・教科としての申請はしていない。総合的な学習の時間等の系統的取組を実施。ふるさと珠洲（宝立町）の自然や文化・歴史等に触れ、調べ、まとめ、発表することで、児童生徒の表現力等を育む。

自問清掃・・・清掃を通して、自らの心に問い掛け、自らを人として成長させる時間として実施。最初の5分間は静かに瞑想し、自問する。清掃が始まると一切私語をせず、教師からの指示もない。教師自らも自問清掃に臨む。

図書館教育・・・学校図書館の充実、読書活動の充実に取り組む。

自校給食・・・地元の食材を数多く使用（地産地消）。※本年度より宝立共同調理場配送校

◇児童生徒数及び学級編制（9学級71名）

〔5月1日現在〕

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	みつ け	7 年	8 年	9 年	計
男子	1	8	2	1 0	3	2	1	4	4	3	3 8
女子	3	7	1	4	4	3	1	6	3	1	3 3
計	4	1 5	3	1 4	1 2		2	1 0	7	4	7 1
	(前期課程) 5 0							(後期課程) 2 1			

※5・6年生は複式学級（1学級）

◇児童生徒数の推移

	元年度	8年度	24年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度
宝立小	285人	175人	69人	(前) 51人	(前) 51人	(前) 51人	(前) 58人
宝立中	202人	123人	49人	(後) 31人	(後) 32人	(後) 25人	(後) 23人
計	(487人)	(298人)	(118人)	(82人)	(83人)	(76人)	(81人)
珠洲市	3千人	2千人	950人	710人	663人	635人	629人

◇教職員（県費教職員21名，市費職員7名）

	前期（小）	後期（中）		前期（小）	後期（中）
校長	1		(教務主任)	(1)	(1)
教頭	1	1	(研究主任)	(1)	(1)
教諭	6	7	(生徒指導)	(1)	(1)
講師	2	1	(保健主事)	(1)	—
養護教諭	1		(特支コーディネーター)	(1)	(1)
事務主査	1		(道徳教育推進教師)	(1)	(1)
栄養教諭	1		A L T	1※	1※
特教支援員	1※		学校司書	1※	
主任校務員	1※		スクールカウンセラー	1※	
調理師	4※				
校務支援員	1※				

※は市費職員

※は教委籍



みつけじま
珠洲市のシンボル 見附島